

2023年8月号

発行:国際ビジネス情報協同組合

猛暑で始まった8月、暑い日はまだまだ続きそうです 13日~16日まではご先祖様をお祀りするお盆で ご先祖様や故人を偲び供養する日です 13日はご先祖様の魂があの世からこの世へ帰ってくる日 お迎えの意味も込めてお墓参りをしましょう



夏の風物詩と言えば花火!!

串本祭り	8月5日、串本漁港で海面を照らす4000発
南紀白浜花火フェスタ	8月10日、白良浜海水浴場、3500発
紀文まつり花火大会	8月11日、有田市役所周辺、2000発
那智勝浦町花火大会	8月11日、那智湾(ブルービーチなち)
御坊市花火大会	8月26日、日高川河川敷、2400発
泉州夏祭り・泉州夢花火	8月26日、泉南ロングパーク(泉南りんくう公園)
スターライトイリュージョン	8月6日、11日~15日、20日、マリーナシティ西側防波堤

~7月掲載内容~

*外国人技能実習生 *筆者の旅行記 *外から見た日本

外国人技能実習生

昨今ではベトナムを離れ、タイ・インドネシア・ミャンマーについての受入れ相談が増えてきていますので、今回はインドネシアとタイの事情をお伝えしたいと思います。

【インドネシア】

先月、インドネシアのジャカルタで技能実習生の面接を行い、16名の合格者を選出してきました。 ▼インドネシアはどんな国!?

国土面積	日本の約5倍(約190万㎢)
人口	約2億7,000万人(世界第4位/平均年齢29歳)
民族と言語	500 以上(公用語はインドネシア語)
宗教	イスラム教(87%) キリスト教・ヒンドゥー教、仏教、儒教の5つ が国教として定められており、互いに尊重し合い併存している
	が国教として定められており、互いに尊重し合い併存している
島	17,508の島から構成され、島の数は世界1位



「ジャカルタ」

首都及び最大の都市で多様な人種や文化が共存共栄しており、経済の中心地となっています。 [カリマンタン島]

広大な熱帯雨林の中に多種多様な生態系が存在しています。世界有数のエネルギー資源(石炭や天然ガス)が豊富なことで有名で経済に重要な役割を果たしています。また 2022 年からジャカルタからカリマンタン島に首都移転を開始し、2045 年に移転完了する計画があります。

[バリ島]

美しい自然が多く世界有数の観光地。バリではヒンドゥー教が主要な宗教で伝統的な儀式や行事が今も色濃く残っています。また芸術家や工芸家も多くバティック染めや彫刻などの伝統工芸が有名で、食文化ではナシゴレンやサテなどのバリ料理も有名です。

[パプア島]

インドネシア東端に位置する地域で、パプア民族などの多様な先住民族が今も暮らしており、独自の文化や言語を持っています。パプア州は経済的には貧しい地域でもあり、資源開発や社会的課題や政治的な問題など、これから発展に向けた取り組みが行われる地域です。

▼インドネシア近代史

[オランダ植民地時代]

インドネシアはオランダから天然資源や香辛料の搾取を目的に、約350年もの間植民地として支配されていました。18~19世紀初頭には反乱運動を頻繁に起こしたものの、独立が叶わず過酷な肉体労働を強制させられるなど残酷な歴史が残っています。

[日本の占領時代]

第二次世界大戦中、日本が大東亜共栄圏戦略の一環として約3年間占領しました。当初日本軍はオランダからの解放者として歓迎され、当時の司令官である今村均を中心に徳政を展開していましたが、司令官が交代後はオランダと変わりない支配に戻り弾圧的な人権抑制に加え、過剰な重労働の強制など国民は過酷な環境を強いられ、これをきっかけに独立への思いが活発化しました。

「インドネシア独立]

日本が敗戦しインドネシアは独立を宣言するも、オランダが植民地支配を継続する意向を示したことで独立戦争が勃発しました。そこでインドネシア軍に協力したのが残留していた約3,000名の日本兵。インドネシア人と共闘し約1,000名が命を落としましたが勝利に大きく貢献し、1949年(戦後4年後)にインドネシアは名実共に独立を果たしました。

[民主主義へ]

1999年に憲法が改正され大統領制の導入・議会の役割の強化など、民主主義の原則が強化され軍事政権体制が終わりを迎えました。2004年に初めて直接選挙によって選出されたユドヨノ大統領が就任したことは世界的に有名です。

▼インドネシアと日本語の関係性

1956年、正式に国交を回復し日本とインドネシアの関係は急速に深まりました。日本は技術協力を推進し、インドネシアの産業の成長に貢献したのです。

ジャカルタ都市高速鉄道の整備	JR東日本が中心に協力
高速道路のインフラ整備	ジャカルタの6割の高速道路を日本が支援
電力・エネルギーの整備	インドネシアの 20%の発電設備を日本が整備
流域開発	多目的ダムと灌漑整備により洪水や水不足の解消に尽力

▼インドネシア人の特徴

インドネシアには約500もの民族があり、ジャワ人が約60%を占め最も多いですが、その他にも多数の民族が存在しています。

★社交的で寛容的

明るい性格の方が多く人との交流や繋がりを大切にします。

多様性を尊重し異文化を快く受け入れる寛容さを持っています。

「世界一怒らない国民」と言われるほど感情は穏やかです。

★礼儀正しく明るい

他人に対しては常に敬意を払い丁寧な態度を取ることが常識です。

笑顔を絶やさない性格は職場を明るくします。

★忍耐力と相互補助の精神

困難な状況にも耐え我慢強く努力を重ねることが得意です。

困っている人には自然と手を差し伸べる優しさを持っています。



▼インドネシアの代表的行事

★ラマダン⇒レバラン(時期は毎年変動/イスラム暦の10月)

レバランは年に1回のラマダン(断食月)が終わったことを盛大に祝う最も大切な宗教祭日のことです。日本で例えるとお正月とお盆が一緒に来たような伝統的な祝祭期間で、大半のインドネシア人が帰郷して家族との再会を楽しみます。

★犠牲祭(時期は毎年変動/イスラム暦の12月)

牛やヤギの命を神に捧げ、その肉を地域住民に分配するというイスラム教の宗教行事です。「裕福な者が貧しい者へ施しを行う」というイスラム教の教えに基づいたもので、動物への感謝の思いも込められており、子供への教育のために見せる親も多いそうです。

★独立記念日(毎年8月17日)

この日は街中が国旗の色の白と赤の2色に染まり国全体がお祝いムードに包まれています。全国的にスポーツイベントが開催され「パンジャットピナン」と呼ばれる油が塗られた棒を登る競技が有名です。

★ニュピ(3月~4月)

バリヒンドゥー教が主となるバリ島にとっての元旦にあたります。この日は外出・労働・電気の使用・殺生などが例外なく全てが禁じられ終日静かに瞑想をする日です。バリにいる観光客を含めた全ての人が対象で、飛行機もトランジットや緊急飛行以外は全て欠航になります。

▼イスラム教の概要

[基礎知識]

- ◎イスラム教はキリスト教や仏教と並ぶ世界三大宗教の一つ
- ◎キリスト教に次ぐ世界第2位の信者数で約19億人
- ◎インドネシア人の9割(約2億3千万人)が信仰

[特徴]

- ◎非暴力と平和を重視し、対話での解決・協力関係の構築を奨励 (テレビ等の報道で見る過激派はイスラムを過激に解釈したごく一部のもの)
- ◎何事にも寛容であることが大切とされており、それが自身の成長に繋がるとされています。 社会的な結束を大切にしており、お祈り・集会・宗教行事を通じてお互いを支え合っています。
- ◎アッラー(神)が慈悲深い存在である事から、イスラム教徒も思いやりの慈悲の心を持つことが重要とされ、他人の苦しみを理解し手助けすることが善行とされています。

▼イスラム教の理解ポイント〜お互い歩み寄るために〜 〈前提〉来日するインドネシア人の方々は、日本の文化に非常に柔軟に対応します。 ①お祈り

[お祈りをする理由]

アッラー(神)への敬意と感謝の気持ちの明示 同時刻にお祈りすることで結束を強め、社会の一員としての自覚を持つ 自身の心の平穏化と成長を促し、自己の行動を振り返る

「基本ルール]

一日5回、メッカの方角(日本から北西)へお祈りする 1回のお祈り時間は10分以内 礼拝前に手・顔・足などを水で洗って行う

[日本での受入れ方]

設置場所は会社の休憩所や更衣室・会議室・食堂など 設置方法は扉・パーテーションやカーテンでの間仕切り 礼拝前に手足を洗えるスペースが近い場所が好ましい 昼休みや休憩時間など、可能な時間帯で協力してください

②断食

[断食をする理由]

食欲などの「欲」を制限することで自制心を養う 自己犠牲を経験し思いやりや慈悲の心を育む 苦しい体験を分かち合い教徒同士の繋がりを強める 過去の過ちや罪について悔い改める

[断食の内容]

断食月(ラマダン)に約4週間の断食(水分も不可)を行う 日没から日の出までは飲食が可能 断食終了後、レバランという長期休暇期間を迎える

「日本での受入れ方]

面接前に日本で無理に断食をしないなど事前に約束をすること 自身の体力の限界を超えての断食をしないよう指導すること 体調が悪い場合、別の機会に断食期間を変更すること

③食べ物制限

[制限される食べ物]

豚肉(ハムなど加工豚肉、調味料含む) アルコール類(お酒全般)

※上記を含まない食べ物を「ハラルフード」と呼ぶ

「制限の理由」

豚肉は不浄の動物とされ食中毒などの病気を避けるため 豚肉を食すことは蛮行に値すると教育を受けている お酒のトラブルはイスラム教にそぐわないとされている

[日本での受入れ方]

昼食等は自分たちでお弁当を持参させてください 飲み会などで無理にお酒をすすめることは控えてください

④女性のヒジャブ

[ヒジャブを着用する理由]

女性としての尊厳や謙虚さを保つため 婚姻関係にある男性以外からの凌辱を取り除くため 神聖な教えとして教育されています

[ヒジャブ着用女性の特徴]

インドネシアでは約7~8割の女性が着用 イスラム教をしっかり守り続けるまじめな女性が多い

[日本での受入れ方]

帽子が制服の職場ではヒジャブの上から帽子を着用職場に合う指定色を装着させることが可能 ヒジャブをむりやり取ろうとする行為は厳禁





▼インドネシア特有の礼儀作法

[注意の仕方]

周囲に人がいる状況で叱る習慣がない 面子を重んじる文化があることを理解して指導する 個別に注意した方が指導を素直に理解してくれやすい

[不用意に頭に触れない]

頭は神聖なものが宿るところだと考えられている 頭に触れられることについては強い抵抗感がある

[左手は不浄]

左手は「不浄の手」であると考えられている 食事を口に運ぶ際や、握手で差し出すのは必ず右手が用いられる

[人前で肌を晒すのが苦手]

人前で裸になることが苦手な方が多い 温泉や飲み会で裸になることを強要するのは控えること

【タ イ】

出張でタイへ行ってきました。国名はタイだと思い込んでいますが、正式名称は「タイ王国」で す。また、タイ王国と日本は古くから関係が深いのです。

タイは熱帯のビーチ、豪華な王宮、古代遺跡、仏像が飾られた華やかな寺院で知られており、首都バンコクは静かな運河沿いのコミュニティやワットアルン、ワットポー、エメラルド寺院(ワットプラケオ)などの有名な寺院と近代的な都市空間が隣り合わせになった都市です。

今回の目的は、首都バンコクで実習生送出し機関との打ち合わせのほか、行ったことがない古都「チェンマイ」にも行って来ました。

現在のタイの事情など写真を中心にお伝えしたいと思います。

▼基本事情

公用語	タイ語
首 都	バンコク
国 王	ラーマ 10 世
首 相	7月27日現在、新首相決まらず
面積	513,120 ㎢(世界 50 位、日本の 1.4 倍)
人口	約 6,980 万人(世界 20 位)
通 貨	バーツ(7月28日現在/100バーツ=377円)
名目GDP	536.16 億 US\$(世界 27 位)
1名当たりGDP	7,650US\$ (世界 86 位)

▼位置



インドシナ半島中央部とマレー半島北半を占め、タイ王国の 周りはミャンマー、ラオス、カンボジア…南はマレーシアが隣接する熱帯の国です。

▼民族



タイ族のほかマレー系、華人、その他少数民族のア カ族などで構成されています。

▼宗教

国民の95%が仏教徒で信仰の自由は保障されていますが、国王は仏教徒でなくてはならないと憲法で定められています。日本も仏教が盛んな国ですが、日本の仏教は中国、韓国、ベトナムなどの北方を経由して伝わった「大乗仏教」ですが、タイの仏教はスリランカ、ビルマ、カンボジア、ラオス等南方を経由した「上座部仏教」といいます。違いは「大乗仏教」が誰でも成仏できるが「上座部仏教」は出家して悟りを開いた者だけが救われるとされています。

[僧侶]









僧侶は30万人とも40万人とも言われており、輪廻転生を信じるタイ仏教において、民衆は徳を積まなければ良い来世を迎える事が出来ません。人々は徳を積むために僧侶に対して、それぞれ身の丈に応じた金品を寄付したりする喜捨(きしゃ)を行います。僧侶はその喜捨を基に修行生活を続けることが出来るのです。

タイ社会では、男子は出家して初めて1人前として認められるので、結婚前に親孝行の意味も含め1~2週間程度の一時出家をする人が多いです。

また、タイ仏教において尼僧の存在は認められていませんが、頭髪を剃り白い衣を着用して修道院で修行生活を送る「メーチー」と呼ばれる女性たちがいます。女性たちは「在家戒」を守って修行生活を送っており、最近では「メーチー」になる若い女性も増えており「尼僧サンガ」(僧侶団)を復興させようという動きも活発になってきています。

□托鉢(たくはつ)

信者から喜捨(寄進)を集めるために回ることを言いますが、僧侶は市場などに立つ場合とお寺周辺を歩くスタイルがあるそうです。僧が近くに来るとワイ(合掌)をして、すぐに自分の靴を脱ぎ、開けられた鉢の中へ用意した食べ物などを入れます。

【タイと日本の関係】

[経済的関係]

タイは経済的分野では重要なパートナーです。対日貿易は輸出では10%、輸入では15%を占めています。また、日本のタイに対する外国投資額全体の35%を占めており、日系企業の海外での一大拠点です。タイから見ると日本は貿易額で第2位、投資額で第1位となっています。

[交流の歴史]

今更言うまでもありませんが、日本とタイの交流は約600年前からだと言われ、当時のタイの首都「アユタヤ」には日本人町がありました。





◎山田長政



山田長政は1612年頃に朱印船でシャム(タイ)のアユタヤ王都に渡り、日本人の傭兵隊として活躍しました。その輝かしい功績から1628年に当時のアユタヤ王朝ソンタム国王より、最高の官位であるオークヤー(大臣級の官職)に任命され、セーナーピムックという名を賜りました。1629年にはアユタヤ王朝配下のリゴール王国の王にまで昇り詰めましたが、1630年の戦闘中に脚を負傷し、傷口に毒入りの薬を塗られて非業の死を遂げたと言われています。

[皇室と王室]



東京オリンピックが行われた 1964 年、当時皇太子だった明仁上皇がタイを訪問されました。当時のプミポン国王と会談して食糧難にあったタイの現状を知ると、魚類学者としても有名な陛下はタンパク質源としてティラピアを育てることをプミポン国王に提案しました。

帰国後、赤坂御用地で育てられていたティラピア 50 匹を翌年の春にタイへ寄贈、プミポン前国 王は宮殿の池でそれを飼育すると、ティラピアの特徴である育てやすさと旺盛な繁殖力でまたたく 間に1万匹にまで稚魚を増やしました。それらは水産試験場を通じて各地に送られ、タイ国民の食 を支える存在となっていったのです。

このティラピアは天皇陛下のお名前「明仁」から取られたという説が有力で、華僑によって名前に「仁」の一字を付け「仁魚」と名付けられました。タイ語では「プラーニン」と呼ばれるようになったといいます。「プラー」はタイ語で魚を意味します。

【ラーマ 10世】





ラーマ 10 世と王宮

ラーマ 10 世(別名ワチラーロンコーン) は 1952 年 7 月 28 日生まれの 71 歳で、国民から尊敬されたラーマ 9 世とシリキッド王妃の長男(第 2 子)です。

タイでは国民の95%以上が仏教徒で、憲法により国王は「宗教の保護者」と定められており、タイ国内における仏教寺院の頂点とされています。

タイ国民にとって国王は深い敬愛の対象とされており、街中の至るところに現国王の肖像画やポスターが飾られ、紙幣にも新国王が描かれ国王の顔を見ずに過ごす日はありません。

[王室改革のデモ]



2020年10月、それまでタブーとされてきた王室の改革を訴えた デモが発生しました。その理由はラーマ10世のスキャンダルが国 民の知るところとなったからです。

前の国王ラーマ9世は「史上最も愛された国王」と呼ばれ、国民から絶大な支持を集めていました。

これとは正反対に、皇太子時代に3度の結婚と離婚を経験しています。4度目の結婚は皇太子付きの親衛隊員に徴用されていた、タイ航空の客室乗務員兼タイ陸軍のスティダー妃(44歳)で、王妃とは別に陸軍看護師のシニーナート(38)とも関係を継続していました。これを知った王妃は激しく反発し、王妃に対する不敬罪として収監しましたが後に開放。

また、コロナ渦の中でドイツのバイエルンのホテルを借り切り、20人の美女と大勢の王室スタッフと滞在していたのです。

コロナ渦でタイ経済は悪化し、その上常軌を逸した国王の行動が国民の知るところとなり、2020年9月、これまで国王が絶対的な存在とされてきたタイで極めて異例となる大規模なデモが行われました。リーダーや参加者のほとんどが学生など 20 代前後の若者で、首都バンコクには賛同した参加者が 5 万人以上集まったといいます。





デモに参加していた学生たちは、王室への抗議の象徴となっている三本指を立てるポーズをとったり、スローガンを唱えるなど「あくまで平和的な座り込み」を行っていたそうな…タイに数週間帰国中だったラーマ 10 世は、警察にデモ隊の強制排除を命令し参加していた学生の多くが不敬罪で逮捕され、このような状況の中で選挙が行われました。

「選挙結果]

選挙の結果は野党が第1党になったものの、7月14日に行われた首相指名選挙では前進党党首のピタ・リムジャラーンラット党首が唯一の候補者となりました。しかし投票権を持つ下院議員500人、上院議員249人の合計749人の過半数である375人でしたがそれには及びませんでした。これは上院議員が国軍によって任命される規則があるためです。

また、ピタ党首は選挙管理委員会(EC)からメディア企業 iTV の株式所有が違憲だとして、憲法裁判所に提訴され国会議員資格を停止される判決が出されたのです。

筆者は思う)

何と日本に住んでいて幸いだ…国軍がタイ国を支配しているのだから日本では考えられない。 日本は選挙に行かず権利を放棄している人も少なくないが、民主国家に住んでいる者の権利として、また義務として改めて考える必要がある。

日本国の象徴たる天皇陛下は好き勝手に行動していない。本当に素晴らしく尊敬せねばならないだろう…。

ところで、タイの国王の財産は 440 億ドル(約6兆円)で世界 1番の王族です。因みに 2020 年の調べによると、タイ国民の人口の 1%だけが富裕層であり、この国全体の 40%の富を所有おり、世界一格差を抱える国と言われています。

筆者の旅行記





関西空港からタイ航空に搭乗し、タイへ向けて飛び立ちました。 約6時間のフライトを経てスワンナプーム国際空港に到着、気ま まな一人旅なのでタクシーに乗ってバンコク市内へ…。

出口が2階なのでタクシー乗り場がある1階へ降りると一般と VIP の看板が…よく分かりませんがホテルの名前を言うと850 バーツ(日本円で3400円)と言われ、高速料金も込みとの事で「まっいっか」と乗りました。因みにホテルまでは約1時間です。

ここで疑問を持ちませんか!? メーターがあるのに何故交渉!? 「タクシー事情〕

タイのタクシーはメーターがありますが、無いに等しい!? どういう事!?

タイのタクシーは交渉次第なのです。やり取りとしては…

「〇〇まで何バーツ?」「300 バーツだよ」

「150 バーツに負けてよ」「200 バーツでどうだい?」「わかった、OK!」てな感じです。

足元を見られボッたくられる…タイの観光局(?) も手を焼いているらしいですが一向に改善しないという…後で聞いた話ですが、空港からホテルまではタクシー券を空港の1階発行機でとり、その番号のタクシー乗り場に行って乗ればメーター料金と高速代のみで目的地まで行けるそうです。これが安全です。後に再度乗る機会があり料金は500バーツでした。

因みにタクシーに乗るときは止まっているタクシーより流しの方が安いと言っていました。

[色々な乗り物]



トゥクトゥク

最近では電気タイプも出てきた三輪車自動車のトゥクトゥクですが、値段が曲者でこれまた交渉次第、メーターはなく小回りが利くオープンカーで気持ちが良いです。

…とは言っても、一番安心で安い乗り物は地下鉄(MTR)、高架鉄道(BTS)、ARL(エアポート・レール・リンク)です。

地下鉄の1回乗車券は16バーツ~42バーツで、トークンと呼ばれる黒いプラスチック製のコインが切符の代わりで驚きました。

高架鉄道の1回乗車券は16バーツ~59バーツで、1日乗り放題乗車券は140バーツです。 この他にIC乗車券のラビットカードがありますが、共通には使用できませんのでご注意を。

【チェンマイ】

チェンマイは平野の多いタイの中で山が連なるタイ北部に位置し、ミャンマーとの国境を接します。チェンマイは1960年代から和歌山県の玉本敏雄氏が数人の妻と子供達を抱えたことが週刊誌で報道され一躍有名になったところです。

チェンマイは日本で言えば京都か奈良と言った古い都のようで、首都バンコックからチェンマイまでは約720kmと、東京から青森や岡山までと同じ位の距離があり、当然飛行機に乗ることになり所要時間は1時間10分位です。



バンコクには2つの空港がありスワンナプーム空港と、もう一つはLCCが就航しているドンムアン空港です。筆者が乗るのは国内線ですが、スワンナプーム空港の何処なのか迷いました。一人旅は心細いですが、ようやくフライトボードを見つけて係員に聞きながら手続きを済ませ飛行機に乗り込みました。席の周りを見ると欧米人、中国人、それに韓国人で、見る限り日本人は私一人みたいです。

チェンマイにはリタイヤした日本人が 3,000 人位住んでいると聞きました。領事館の届け出もほぼ同じような人数が出ています。

空港では紹介されていた人が迎えに来て下さり、安心して2泊3日を過ごす事が出来ました。

【お寺~ワット~】

どこに行ってもお寺…お寺の数が余りに多く感じるので調べてみると…数はそれほど多くありませんでした。チェンマイ県で1701 箇所(2017 年チェンマイ仏教会調べ)、僧侶の数 5,674 人、見習い僧は 5,340 人。因みに日本でお寺が多いのは愛知県の 3,394 箇所です。



ワットとはお寺のことで、写真は仏堂とパゴダ(仏塔)です。

チェンマイで超有名なのは標高 1080mのステープ山の山頂に、1383 年に建立されたワット・プラ・タート・ドイ・ステープ、高さ 22mの黄金色に輝く仏塔は驚くばかりの美しさで仏舎利(仏陀の遺骨)が収められていると言う…。



【メーワン国立公園】

チェンマイには仏堂ばかりではありません。タイは平野が殆どですが珍しく山もあります。 この30mに及ぶ崖は垂直に立ち、500万年前の地層を見る事ができます。正に圧巻です!!!



ここは小高い丘で、見晴らしも素晴らしいです。



ここにはチェンマイから車で約80分かかります。軍が管理しており親切な軍人さんでした。



ここの駐車場から歩いて 400mで奇岩に到着、暑い中で川床を歩くのは結構大変です。まずスニーカーかトレッキングシューズを履いて、日焼け止めを塗って帽子を被り、水を片手に歩きます。

チェンマイに行ったのは初めてですが、感想を言うと…観光客が多いですが何か落ち着いていて、日本の京都や奈良のように古都の風情を残したとでも言いましょうか、或いは和歌山県の高野山のように神秘的で聖域のパワーを感じるとでも言いましょうか…何か古き良き時代が感じられるのです。また人の心も親日的で優しく、正に微笑みの国だと実感でき、月額7万円も出せば結構良い生活が出来るのと、都会の騒音の中で暮らしてきたリタイヤした日本人が、ゆっくりと落ち着いた雰囲気の町で暮らすのに最適な環境と言えるのではないでしょうか。

【バンコク】

チェンマイで数日過ごし、首都バンコクへと帰ってきました。バンコクでの観光はせず人心や生活状態を知るために繁華街や市場を歩き回りました。

【市場】





バンコク最大級のクロントゥーイ市場を見学しましたが、ここはバンコクの台所と言われており 飲食店の人や一般の誰でもが買い物できる市場です。

市場周辺はトゥクトゥク(3輪自動車)運転手が買い物終わりの客を待ち構えていますが、写真を見ても分かる通り、タクシーでは小回りも利かずトゥクトゥクでないと積めませんね。

生活に必要なものは何でも売っている市場です。



写真の野菜ですが、ほとんどが 1kg 単位で売られています。小売店で買う値段の半分から 3 分の 1 程度で買えるらしく、ビックリするほど安いです。

この市場に行くにはMRTクィーンシリキットナショナルコンベンションセンター駅①番出口を出て、ラーマ4世通りに架かる陸橋すぐの場所で徒歩5分です。

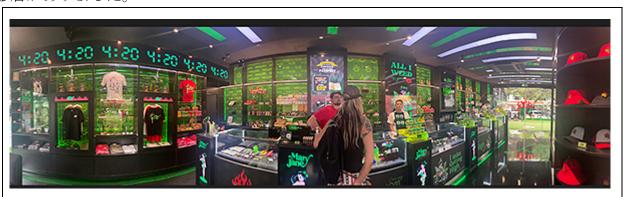
【スラム街】

この市場の奥周辺に「クロントゥーイスラム」があります。スラムと言われて危険と感じましたが、色々聞いてみると普通の住宅街なそうな…このスラムと言われているところを見ると、高級マンションが見えるところに貧しい家があり、貧富の格差を目の当たりにしました。



【マリファナ~大麻~】

ホテル近くのオープンカフェでコーヒーを飲んでいると、近接した店にマリファナ(大麻)を売っている店がありました。





タイでは医療用に大麻(マリファナ)が販売されています。 私は店に入って良いか、写真を撮っても良いかというと快く OK してくれ、白人女性がマリファナを買う姿を見ることができました。

害があるということで野党が禁止を打ち出したことで、野党から首相が選出されれば販売禁止ということになるかもしれません。

【バンコク繁華街】

バンコクの繁華街は「タニヤ」「トンロー」「スクンビット」という所に夜の店が多くあります。 「タニヤ」

主に日本人がよく利用する場所で、皆日本語を話すことが出来るようようです。

[スクンビット通り]

流行のバーやショッピング、ナイトクラブがあり、日本人のみならず欧米人も多く来ています。 [トンロー]

カクテルバー、高級ショッピング、ブティックショッピングなどを楽しむには最適です。地元の 人やタイに滞在している外国人居住者に特に人気のエリアです。

ビックリしたのは!?



ここは道路です。下着姿で…ナニ!? コレ!?

【まとめ】

タイは微笑みの国というだけあり、いつもニコニコです。人心も非常に親日的で嬉しいです。 ただタイ滞在中に感じたことは、観光客やビジネスを問わず日本人が非常に少なくなっており、 反対に中国人や韓国人が圧倒的に増えています。これは日本の国力を表しているのでは?! という 点で気になるのですが…ここで聞いた話ではお金がすべて、今日のお金だけを考えています。明日 の日は…将来は…そんなことを考える人達ではありません。

この話を聞いて嫌でしたが、納得できることもありました。

外から見た日本

筆者は不思議と…外国に行くと日本が客観的に見えます。

まず、関空から外国に行く飛行機の便が圧倒的に少なくなっています。日本のJAL、ANA便が少なくなっているのは何故でしょう…関空にあったショップも少なくなっています。これらは単にコロナ禍のせいでしょうか…。

タイのスワンナプーム国際空港、韓国仁川国際空港では沢山の人で賑わっているのに…筆者は次 のように考えてみました。

【国力の低下】

現在、世界は通貨より物価が高くなるというインフレ傾向にあります。各国は政策金利を上げている中で7月27日・28日両日に日銀政策金融決定会合が開かれました…下段委記載

振り返ってみると 2013 年の 10 年前は 1 ドル 99.61 円でした、2023 年 7 月 30 日現在では 1 ドル 141.14 円です。お金を限りなく印刷してばら撒いたらどうなるのかは誰でもが分かります。

2016年以来、金融緩和のために指定した利回りで国債を限りなく買い入れることを決定し、これを続けた結果です。

本来「実行為替レートは通貨の実力を表す」と言われていますが、これは 30 年前の実力に戻った(低下した)ことになるのです。日本円は従来「安全資産であり、リスク回避のための通貨だと認められてきたが現在になり決してそうは言えなくなっています。

現在の株価は円で表示すれば確かに高い、これは恒常的なカンフル剤が聞いているのと、円は安くなり株価は円表示をしているからです。このカンフル剤が正常に戻すことが出来ないか、あるいは非常な痛みを伴うか…株価をドルに換算し、10年前と比較すると決して高いとは言えず、この株高は将来国民に負担をかけることを容認したもので、決して手放しで喜べないどころか将来日本が痛みを伴うと覚悟しなければなりません。

【日銀の大失策】

これは通り過ぎた後から何とでも言えるのでしょうが、どのように考えても黒田日銀前総裁の大失策であると考えます。

金融の超緩和は一時的に景気を良くしたことは確かですが、長期的視点に立てば日本国の負債を膨らませ、財政はじめ経済を正常に戻すことは難しくしているのです。

国、地方の債務残高が1200兆円という膨大な負債を抱え、これを返済する目途すらない…この ツケを払うのは誰だ!? あなたなのですよ。

【日銀金融政策決定会合】

7月27日・28日両日に渡り日銀金融政策決定会合(参考参照)が開かれました。

[米(FRB): 利上げ]

これより先 26 日米国連邦準部制度理事会(FRB:中央銀行に当たる)は政策金利を 0.25%引き上げると決めました。今回の機動的利上げは物価上昇(インフレ)の再加速を防ぐ狙いがありました。6 月の米国の消費者物価指数は前年同月比 3.0%上昇で、直近のピークだった 2022 年 6 月 (9.1%上昇)から 12 カ月連続で鈍化し、目標とする 2%に近づきつつあります。

「日本(日銀)]

金融政策決定会合では、これまでの大規模な金融緩和策を維持することを決定しましたが、金利を低く押さえ込むための「長短金利操作(イールドカーブ・コントロール)」については「柔軟化」することを決定しました。

- ・長期金利の変動幅を従来に[0.5%程度]から[0.5%程度を目途]とし運用する。
- ・10年物国債金利を1%の利回りで金融市場調節を行う。
- ・3年間の物価見通し、今年度の生鮮食品を除いた消費者物価指数の見通しは政策委員の中央値で、前の年度と比べてプラス 2.5%と前回 4月に示したプラス 1.8%から引き上げました。

【筆者の見解】

今回の決定は日銀が次の一手を考えた地ならしという見方もあるそうですが、各国の政策金利を考えた場合「柔軟化」など訳の分からない文学的表現で発表とは…全く呆れ返ります。役人特有の小手先での責任回避です!! もっとも日本は先が見通せないことで、このような発表になったかもしれないが…日銀に求めるのは国民が誰でも分かる将来を見据えた金融政策の運営計画、ビジョンを表明する必要があるのではないか…という事です。

日銀は大失敗をし、債務残高国地方で1,200 兆円もの負債を抱えていることは誰もが知っています。これを解消するためには国民に痛みがあることも分かっています。分からないのは日銀が将来どのようにしてこれを解決していくかなのです。

国民が求めるのは誰もが分かる線路を明示する事!!

本来の日本を取り戻す方策を示さないでどうする!!!

参考) 日銀金融政策決定会合とは

日本銀行が金融政策の方向性や政策金利の上げ下げなどの金融政策運営を討議・決定する会合で、年8回各会合それぞれ2日間にわたって開催します。

「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」は年4回(通常、1月、4月、7月、10月)の会合で審議・決定のうえ公表されます。

参加メンバーは政策委員(総裁2名・副総裁・6名の審議委員の計9名)ですが、財務省や内閣府などの政府関係者が参加して意見を述べることも認められています。